

## 勝浦高等学校の現状

1 所在地	勝浦郡勝浦町大字久国字屋原 1										
2 地理的条件 アクセス等	<p>小松島市から約 1.5 km, 勝浦川の中流域にあり, 中山間農業地帯である。気候が温暖で自然環境に恵まれており, 県下有数のミカン産地を形成している。</p> <p>公共交通機関は小松島市, 徳島市方面の路線バスが開設されており, 特に社会経済面では小松島市, 徳島市との結びつきが強い。</p>										
3 沿革	<p>大正 15 年 勝浦郡生比奈村横瀬町組合立高等農業補習学校開校</p> <p>昭和 24 年 小松島高等学校園芸科教室</p> <p>昭和 32 年 徳島農業高等学校園芸科教室 (全日制)</p> <p>昭和 35 年 徳島県立徳島農業高等学校勝浦分校</p> <p>昭和 39 年 徳島県立勝浦園芸高等学校に独立昇格し, 園芸科 2 学級, 生活科 1 学級を設置</p> <p>平成 6 年 徳島県立勝浦高等学校と改称 普通科 2 学級を設置し園芸科は 1 学級, 生活科は募集停止</p>										
4 施設・ 校地面積等	<p>校地面積 28,502 m<sup>2</sup> (内農業実習地 6,658 m<sup>2</sup>)</p> <p>教室棟, 体育館等に加え, 園芸科の実験実習棟や温室が整備されている。また, 単独寮 (収容定員 16 名) が設置されている。</p>										
5 教職員	教 員						事務職員			合計	
	校長	教頭	教諭	養護 助教諭	実習 助手等	講師 ほか	小計	事務 職員	その他		臨時 職員
	1	2	20	1	3	9	36	3	2		1
6 教育方針	<p>教育基本法に基づき, 心豊かな人間の育成, 基礎・基本の重視と個性を生かす教育の充実, 自己教育力の育成, 文化と伝統の尊重と国際理解を推進し, 生徒の人格の完成, 健全な心身の発達及び国際化時代を担う人間を育成する。</p> <p>(1) 知・徳・体の調和のとれた感性豊かで至誠の心をもつ人間を育てる。</p> <p>(2) 人権を尊重し, 民主的かつ協和の精神に富んだたくましい人間を育てる。</p> <p>(3) 地域社会の実態に基づき, 総合高校としての教育を行い, 勤労と責任を重んじ, 心身ともに健全な人間を育てる。</p>										

7 学科等	普通科	文 理 (類型)	教科「国語」・「数学」・「外国語」に関する単位数を多くし、大学・短大・医療系専門学校進学に対応した指導を行う。			
		生活福祉 (類型)	教科「家庭」の学習を通し、秘書技術検定取得に向けた指導を行うと共に家庭・福祉系の進学に対応した指導を行う。			
		情報処理 (類型)	教科「商業」の学習を通し、電卓・ワープロ・情報処理等の資格取得に向けた指導を行う。			
		ふれあい (類型)	教科「体育」、教科「農業」の学習を通して、社会人としての資質の向上をめざすとともに、生涯学習の基礎をつくる指導を行う。			
	園芸科	バイオ コース	科目「植物バイオテクノロジー」・「果樹」の学習を中心に、植物栽培の基礎・基本について指導を行う。			
		社会園芸 コース	科目「生物活用」の学習に教科「家庭」の科目を加え、園芸装飾や園芸セラピーの基礎・基本について指導を行う。			
<p>【特色ある教育活動】</p> <p>『普通科』</p> <p>① 各教科の基礎科目を重視，生徒の個性を伸ばし多様な進路希望に対応するため，2年次より4つの類型を設けている。</p> <p>② 園芸科併設の高校の特色を生かし，教科「農業」の科目履修も可能となっている。</p> <p>『園芸科』</p> <p>① 地域の実態，生徒の進路等を考慮した科目を設置している。</p> <p>② 1年次は共通履修，2年次から生徒の適性や進路希望に応じて選択できるコース制を設けている。</p> <p>③ 地域に根ざした教材（上勝町のリンドウ等）を取り上げ，地域に貢献できる農業教育を展開している。</p>						
8 生徒数	学科		1 年	2 年	3 年	計
	園芸科	男	17	14	15	46
		女	3	7	2	12
	普通科	男	20	24	24	68
		女	21	14	14	49
	計		61	59	55	175
地域の少子化に伴い生徒数は減少している。						

9 部活動	部活動名	人数	部活動名	人数										
	野球部	17	バスケットボール部	8										
	ライフル射撃部	9	二美の会 (人権)	4										
	卓球部	4	民芸部	14										
	陸上部	6	情報処理部	7										
	男子バレー部	6	芸術部	9										
	女子バレー部	7	バイテク部	5										
	ソフトテニス部	12												
	サッカー部	7												
	<p>体育系部活動 9部 文化系部活動 4部 生産系部活動 1部 計 14部</p> <p>野球部では本来の部活動だけでなく、あいさつ運動等に積極的に取り組み、地域からも高い評価がある。</p> <p>ライフル射撃部は、県高校新人男子チームライフル団体に頂点に立ち、民芸部は、全国高等学校総合文化祭福井大会に参加し優秀賞を得るなどの成績を残している。バイテク部は、地域の希少植物の保護活動に取り組んでいる。</p>													
10 進路状況	(平成17年度卒業生)													
		就 職		進 学										
	卒業者数	県内	県外	四年制大学	短期大学	各種専門学校	家事手伝等							
男	35	17	7	1	1	8	1							
女	27	14	1	3	4	4	1							
計	62	31	8	4	5	12	2							
比率 (%)		63%		34%			3%							
	業種	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設	製 造	水ガ電 道ス気	通 運 信 輸	飲小卸 食売売	保 金 険 融	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務
性別 県内外	県内	1				4	7			4			1	
	県外						1			1			2	3
女 県内							1			4			9	
	県外									1				
計	39	1				4	9			10			12	3
比率 (%)		3%				10%	23%			26%			31%	7%
<p>大学・短大・専門学校への進学が 34%、就職 63%である。</p> <p>就職先は県内が多く、産業分類はサービス業が 31%を占めている。</p>														
11 課題	<p>・家庭的な雰囲気の中で、教育課程を工夫しながら教職員一丸となった教育を展開しているが、高校教育を取り巻く社会環境の変化と少子化の影響等から生徒数は減少している。</p> <p>・高校再編方針（分校化）を受けて、今後、地域の素材を活用しながら時代の変化に的確に対応できる固有の価値を持った農業教育へと改革を進め”勝高ブランド”を確立していく必要がある。</p>													